

異年齢の関わりの中で 見て、まねて、学び合う子ども達

コロナ禍が明け、日常が戻ってきました。子ども達は、日常的に異年齢でかかわり、見て、まねて、やってみて・・・日々成長しています。

【ある日の砂場遊びの巻】

年長のらいおん組の子ども達が朝一番に砂場に来て、いろんな方向から桶の太さや長さを考え、組み合わせながら水を流し、プールを作っていました。そこへ楽しそうに遊ぶ様子を



【穴を掘って、大きいプールを作りたいと考えるぱんだ組の子ども達】



【友達とカップからペットボトルに水を移すりす組の子ども達】

見た年中のぱんだ組の子ども達が「入れて」。らいおん組は二つ返事で「いいよ」。ぱんだ組の子ども達は、水や砂にふれる心地よさを感じながら、一緒にプールを掘ったり、水の中でバシャバシャしたり・・・いつの間にからいおん組の子ども達は数人に。そして、ぱんだ組の子ども達が砂場を占領!! 泥だらけになりながら水や砂と戯れていました。

そして、りす組の砂場では、りす組の子ども達が桶にカップを使って、水を流していました。ペットボトルを用意すると、今度はカップに水をつぎ、ペットボトルに移し、水を流すことを考えました。それを見ていた他の子は「ぼくも欲しい」と言って、一緒にペットボトルを探しに行くと大きいペットボトルを選択!! 早速コップからペッボトルに水を移して、桶に水を流しました。しかし、・・・せっかく選んだ大きいペットボトルですが、りす組の子どもの手には大きすぎて、難しかったのです。「やっぱり、〇〇ちゃんのがいい!!」またまた小さいペットボトルを探しに行って、水を流したのでした (! (^`)!)。

大きい砂場でのダイナミックな遊びは、まだりす組の子ども達は見るだけですが、その中で「やってみたい!!」気持ちが芽生え、自分達なりに挑戦しています。

子ども達のエネルギーはすごいです。「～したい」という思いもあふれています。その子ども達の願いをかなえるために、保育者は環境を整えたいと考えています。これからますます気温が上がり、砂や土、水が恋しくなります。今だからこそできる五感を使った感動体験を大切にしたいと考えています。洗濯が大変ですが、ご理解ご協力をお願いします。

【虫見つけの巻】



捕まえた!!
これはシジミチョウだ

子ども達は虫が大好き。ダンゴムシを捕まえて、触れるようになったりす組の子ども達は、虫かごにたくさんのダンゴムシを捕まえて飼っています。毎日興味深く観察する中で、脱皮をしていることを発見した子ども達。「皮をぬいで大きくなるんだよ」と教えてくれました。

らいおん組の子ども達の中には、毎日のように網を持って、虫を捕まえている子がいます。仲間が増え、その中にはりす組やぱんだ組の子ども達もいます。ダンゴムシからテントウムシ、チョウチョウ。今はバッタの赤ちゃんを追いかけています。その中でどんどん虫への興味関心が高まり、名前や種類に詳しい子もいます。子ども達は「捕まえない」「知りたい」という願望であふれています!!

また、その中でらいおん組のお兄ちゃんが虫を捕まえてあげたり、捕まえるのを譲ってあげたり・・・微笑ましい光景が見られています。

育てた玉ねぎを使って、カレーパーティー 年長のらいおん組が大活躍!!

今年玉ねぎは豊作!! らいおん組の子ども達は、玉ねぎスープにしたり玉ねぎステーキにしてマヨネーズ・ソース・ポン酢で食べたりしました。そして、今度は5月27日(月)カレーパーティー。みんなのために、朝から玉ねぎが目にしみながら皮をむいたり、じゃがいも、にんじん・玉ねぎを包丁を使って切ったりしました。初めて包丁を使う子もいましたが、予想以上に子ども達は上手に包丁を使って野菜を切りました。

その後、ぐつぐつと煮込んで、12時すぎに「いただきます」。りす組もぱんだ組も「美味しい」と言いながら、本当によく食べました。

また、らいおん組の子ども達は老人会の方が5人来てくださり、カレー作りや家族の話などとても楽しそうに会話をしながら食べていました。地域の方とは初対面でしたが、子ども達からいろいろ話しかける姿があちらこちらで見られ、子ども達の成長を感じました。

老人会の方の力を借りて 竹馬作り

食事後、らいおん組は老人会のお力を借りて親子で竹馬を作りました。ペンチで強く針金を巻いたり竹を固定したり・・・老人会の方が気持ちよく動いてくださり、とても安心して皆さん竹馬が作れたようです。この縁が続きますように・・・

